

Point

2021/05/13 No. 27
JR東労組青年部
(東日本旅客鉄道労働組合青年部)
発行責任者 武田 太希

第4回賃金学習会開催！



5月9日（日）本部会議室において第4回賃金学習会を行い、20名を越える仲間が参加しました。当日は新型コロナウイルス感染症対策を行い、テレビ会議システムを用いて開催しました。

①21春闘総括と夏季手当に向けて

21春闘の妥結結果やそれぞれの職場現実について意見交換を行いました。参加者それぞれから妥結結果に対する怒りや悔しさが出された一方、職場にいる多くの若手は定期昇給の意味を知らない若手と議論してきた実践が報告されました。

一方、何故定期昇給（昇給係数2）を会社は示してきたのか。『赤字だからしょうがない』と話す若手に対して、どのように議論をしてきたのか議論を深めてきました。参加者から「昇給係数2を回答した理由は組織力を見られたからではないか」「相手の意見を掴まず、自分の考えを伝えただけだった」「妥結結果に対して会社への愚痴で終わってしまい、そこから労働者意識へ転換出来なかった」などの感想が出され、21春闘敗北の根拠を明確にしてきました。

その後、夏季手当交渉に向けてどのように運動をつくり出すのか議論してきました。悔しさや怒りを共に感じる仲間を増やしていくこと、関わっている若手の意識と行動を変えていくなど、21春闘で感じた怒りや悔しさをバネに組織強化・拡大を実現していく意思統一を行いました。

②賃金学習

この社会や労働者が置かれている立場について学習しました。私たち労働者は会社から多くの利益を搾り取られていること、そして一人では弱いため労働組合を結成して雇用と利益を確保していることを議論しました。参加者からは「久々に学習した」「赤字でも会社は私たちの利益をより多く搾り取っているのだと感じた」など感想が出されました。

**悔しさと怒りをバネにして夏季手当をたたかい取りに行こう！
多くの若い仲間と議論し、組織強化・拡大を実現しよう！**

